



「治療を続けながら働く人を 応援する事業者の皆様へ」

事業者用

治療と仕事の両立に向けて、オール京都で応援します。

両立支援はなぜ必要？

疾病を抱える労働者の状況

- 日本の労働人口の約3人に1人が働きながら通院しています。
- 一般定期健康診断の有所見率は50%を超えており、疾病リスクを抱える労働者は増加傾向にあります。
- 治療と仕事を両立できるような取組がある事業所の割合は約4割。

疾病を抱える労働者の就業可能性の向上

- 治療技術の進歩により、かつては「不治の病」とされていた疾病の生存率が向上し、「長く付き合う病気」に変化しつつあります。
- 病気＝離職とは限らなくなっています。

病気になった人も仕事を続けたい！

- 仕事をもちながらがんで通院している労働者の数は約45万人。
- 生計を維持するためや、治療費のためはもちろんですが、自分の仕事に期待してくれる人々がいることは、病気と闘う励みになり、生きがいになります。

社員が病気になってしまったが、無理なく働き続けてもらうためには、どうしたら良いのだろうか？
辞められたら困る！



両立支援は、事業者・働く人ともにメリット！

事業者(会社)のメリット

- 貴重な人材資源の喪失が防げる
- 継続的な人材の確保、人材の定着
- 労働者のモチベーション・帰属意識の向上による労働生産性の維持・向上
- 健康経営の実現、充実した福利厚生制度のPR
- 多様な人材の活用



安心して働ける職場・企業の成長へ

働く人のメリット

- 治療に関する配慮が受けられ、病気の悪化が防げる
- 治療を受けながら仕事が続けられる
- 継続して収入が得られる
- 仕事による社会貢献や自己実現
- 仕事に対するモチベーションの向上、安心感



京都府地域両立支援推進チーム

両立支援の取組の連携を図り、病気を抱える労働者が活躍できる環境を整備することを目的として、京都府内の両立支援を推進する関係者（国・京都府・京都市・医療機関・関係労使団体等）で構成するチームです。

（事務局：厚生労働省 京都労働局労働基準部 健康安全課）

（R6.3）

治療と仕事の両立支援 京都府内の相談先一覧

職場の休暇制度等、労働条件を整備したい

平日：月～金曜日
年末年始・祝祭日を除く

名称	所在地	電話	【利用日・時間】
京都労働局総合労働相談コーナー	京都市中京区金吹町451番地	075-241-3221	平日 8時30分～17時15分
京都府労働相談所	京都市南区新町通九条下ル 京都テルサ内	0120-786-604 075-661-3253	月～土 9時～13時 14時～21時 (土曜は17時)
京都府社会保険労務士会	京都市上京区弁財天町332	075-417-1881	(予約制) 水曜 10時～16時

労働者が働き続けながら治療を続けられる制度を導入したい

名称	所在地	電話	【利用日・時間】
(両立支援・助成金についての相談) 京都産業保健総合支援センター	京都市中京区梅屋町361-1 ア-ハ'ネックス御池ビル 東館5階	075-212-2600	(予約受付) 平日 9時～16時
(助成金についての相談) 独立行政法人労働者健康安全機構 労働者健康安全機構のホームページで「団体経由産業保健活動推進助成金」をご確認ください。		(ナビダイヤル) 0570-783046	平日 9時～16時 13時～18時

団体経由産業保健活動推進助成金のご案内

(独)労働者健康安全機構が、産業保健活動総合支援事業費補助金の一部で行う助成金の制度です。

- 助成対象** 商工会等の事業主団体等や労災保険の特別加入団体(労働保険事務組合等)
- 助成対象事業** 傘下の中小企業等や個人事業主に対して行う、産業保健サービスの提供事業
(医師、保健師、看護師、社会保険労務士、両立支援コーディネーター等による支援等)
- 助成額** 年度・申請時期で異なります。



両立支援の進め方…相談支援体制(例)

支給の流れに沿って番号をつけています

